

自動マルチチャンネルピペッター搭載  
マルチモードマイクロプレートリーダー

# FlexStation 3



5セット  
限定!

2022年  
9月30日(金)  
受注分まで

~~1,650万円~~  
(税込み 18,150,000円)

1,000万円

(税込み 11,000,000円)

## パッケージの構成



### FlexStation 3

マルチチャンネルピペッターを搭載した迅速応答カイネティック対応型の5モードプレートリーダー

### 測定試薬キット (いずれか1つを選択)

- 洗浄不要の蛍光試薬 (カルシウム、膜電位、カリウムの3種)  
優れた特性の蛍光プローブとマスクング剤を使用した細胞ベースアッセイ用試薬
- ルシフェラーゼアッセイ試薬  
最適化された2種類の検出試薬を連続注入し、哺乳類細胞内のホタルおよびレニラルシフェラーゼの両方を高感度に定量する試薬



### 96 ウェルピペッターヘッド

96 ウェルプレート対応ピペッターヘッド



### 96 ウェル黒色チップ (200 μL) 10 ラック/ケース

\*別途 PC が必要になります

## 特徴

- 吸光・蛍光・発光・時間分解蛍光 (TR-FRET を含む) ・ 蛍光偏光に対応
- マルチチャンネルピペッターによる自動分注機能とフレキシブルな分注最適化機能
- Flex モードによる迅速カイネティックアッセイ

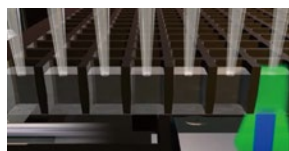
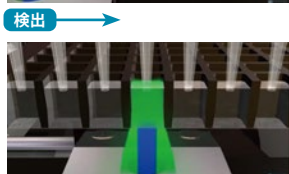
## こんな方におすすめ

- 1プレート当たりのカイネティックアッセイを**時間短縮**したい方
- 細胞内カルシウムを迅速カイネティックアッセイにより**定量化**したい方
- **マニュアルパッチ・オートパッチ**の代わりに、簡易的なシグナルを確認したい方

詳しくはこちら



Flex リードタイプ：自動分注と併せて連続的な検出を可能にします



## Flex リードタイプによる迅速カイネティックアッセイ

- アッセイプレートの1つのカラムにある1~8ウェルが、指定された時間にわたって繰り返し読み取られます (左図)。
- 指定した1つまたは複数のタイミングで、マルチチャンネルピペッターを用いて最大3つの試薬を化合物プレートからアッセイプレートに移すことができます。
- 各試薬分注の前後に、指定した時間間隔で読み取りを続けます。測定完了後に次のカラムでこのサイクルを繰り返します。
- 2分間のカイネティック測定では、約24分で96ウェルプレート全体の測定が完了します。

詳しくはこちら



### 一般的なプレートリーダー

### Flexstation 3

	一般的なプレートリーダー	Flexstation 3
分注可能な溶液の種類	1-2	1-3
インジェクター/ピペットヘッド	2	8チャンネル
プレート測定時間 (96ウェル) *	96-480 min	12-60 min

\*1インジェクション当たり1-5分を想定

## 洗浄不要のアッセイ

### 混ぜるだけのシンプルなワークフロー (図1)

- 特許のマスキング剤を使用
- バックグラウンド蛍光が低下し、S/B比が向上
- 細胞に不要なダメージが無いため、ウェル間のばらつきが低減

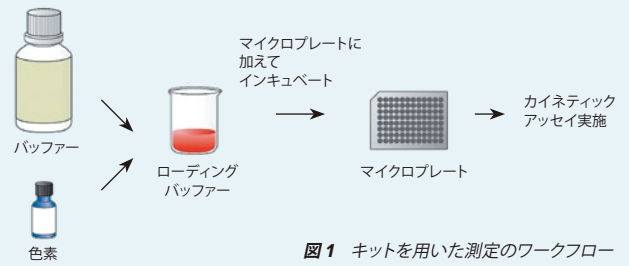


図1 キットを用いた測定ワークフロー

マイクロプレートに細胞を播種

蛍光色素を細胞にローディング

チップ、化合物、測定プレートを装置にセット

カインेटリック測定・自動解析

## カルシウムアッセイキット

型番: R8194

- 細胞内のカルシウム動態を蛍光で検出
- 独自の色素で、ワイドなアッセイウィンドウ (図2、3)
- バックグラウンドを抑えたレシオメトリックアッセイ (Fura-2, R6139) キットも利用可

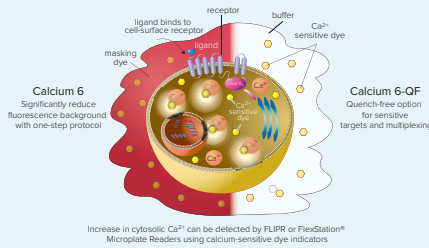


図2 カルシウムアッセイキットによる蛍光検出原理。右側はクエンチフリーオプション

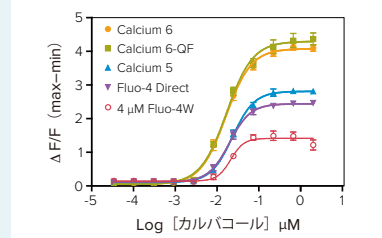


図3 カルシウムアッセイキット (Calcium 6, 6-QF) と他のカルシウムインジケータとの比較。カルシウムアッセイキット  $\Delta f/f=4$  と  $4.2$  の最高のシグナルウィンドウを示しました。

詳しくはこちら



## 膜電位アッセイキット

型番: R8128 Evaluation Kit  
試薬のリピード購入の場合は  
型番: R8042 (Blue), R8126 (Red)

- 細胞内外のイオンの出入の双方を検出 (図4)
- パッチクランプ法との良好な相関 (図5)
- 電位変化に対する応答が速く、温度変化の影響を受けない

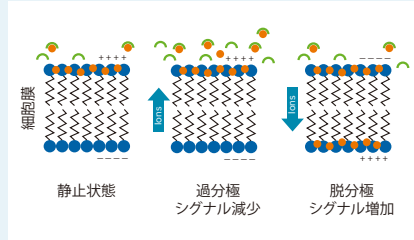


図4 膜電位キットによる分極の検出の原理

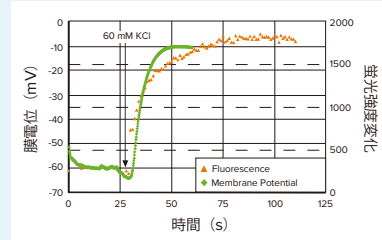


図5 電位依存性カリウムチャネル発現 CHO 細胞を用いた、パッチクランプ法と蛍光法の膜電位キットの比較

詳しくはこちら



## カリウムチャネルアッセイキット

型番: R8330

- 電位依存性、リガンド依存性カリウムチャネルに対応
- 独自の色素で、ワイドなアッセイウィンドウ (図6、7)
- パッチクランプ法と良好な相関

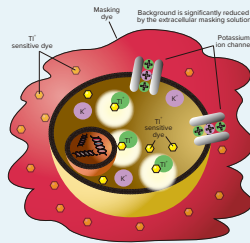


図6 カリウムチャネルアッセイキットによる蛍光検出原理

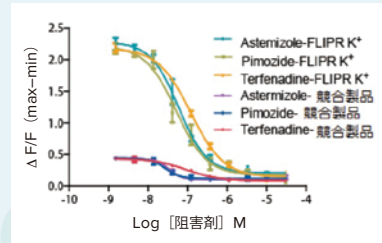


図7 競合製品とのパフォーマンス比較

詳しくはこちら



## ルシフェラーゼアッセイキット

型番: R8360

- 高感度なデュアルルシフェラーゼ (Firefly, Renilla) レポーター遺伝子アッセイ (図8)
- 感度に優れたフラッシュ型発光
- ウェルあたりわずか10個の細胞から測定可能

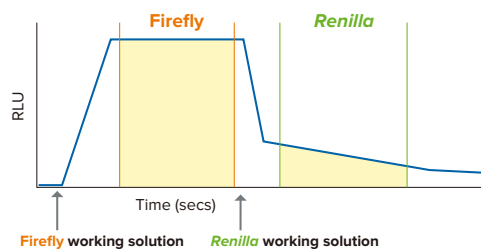


図8 デュアルルシフェラーゼレポーターアッセイによる経時的な発光シグナル

詳しくはこちら



## Contact Us

モレキュラーデバイスジャパン株式会社  
Phone: 0120-993-656  
Web: [www.moleculardevices.co.jp](http://www.moleculardevices.co.jp)  
Email: [info.japan@moldev.com](mailto:info.japan@moldev.com)